

## 第4回 苫小牧市中小企業振興審議会要旨

1 日 時 令和4年2月16日(水) 13:30~14:30

2 場 所 苫小牧市役所職員会館3階 304号室

3 出 席

(1) 苫小牧市中小企業振興審議会委員

伊藤委員、遠藤委員、奥村委員、坂本委員、佐々木委員、須田委員、高橋委員  
中島委員、服部委員、藤本委員、増田委員、綿貫委員

(2) 事務局(市)

産業経済部 : 金谷部長

産業振興室 : 白川室長

商業振興課 : 小泉課長、長谷川主査、新田主査、朝倉主事

工業・雇用振興課 : 木澤課長、齋藤主査、高橋主事、小野寺主事

4 概 要

(1) 開会

苫小牧市中小企業振興審議会開会(委員15名中12名出席、苫小牧市中小企業審議会規則第4条第2項の規程による審議会開催の定足数を満たしている)

(2) 報告

①前回の意見交換会の結果について

佐々木委員より、11月24日(水)の第3回中小企業振興審議会後に開催された意見交換会の結果報告。冒頭、高橋会長より本審議会と意見交換会のあり方について説明があり、その後各委員より、「審議会のメンバーで市の事業を立ち上げたい」「3つの柱が線で結んで進んでいければよい」「熱量がある方たちで集まりたい」「令和4年10月の社会保険適用拡大について」「働く人のライフスタイルを考えないと、人が確保できない状況」「ICT創業を増やすことやアニメツーリズムの取組を進めることは民間も一緒にできる」「人材確保セミナーを開催予定であり、審議会に生かしたい」「計画に対し、制度融資や保証料補助など政策面で提案したい」「ICTや都市部からの移住など、コロナだからこそできることを考え、中小企業が発展するまちにするため、意見を出してまいりたい」「やりたい事業を市に提案し、市の施策に合えば市に予算化してもらいやり方もある」「ファンド組成や、U・Iターンの関係で市と連携して何かできないか」「計画骨子の内容が本市の中小企業の特徴に合っているか」「産官学連携について大学と連携した外国人材の育成、活用について」などのご意見があったことを報告。

②市が実施する新たな経済対策について

事務局より資料1に基づき、令和4年1月に臨時市議会が開催され、「プレミアム付商品券事業第三弾」「第三者認証取得推奨給付金事業」「宿泊割引・宿泊者向け商品券配布事業」の3事業が可決されたこと及び、事業の概要について説明。

○中島委員

プレミアム付商品券事業において、とまチケの販売数に対する利用率はどのくらいか。

●事務局

現在集計中であるが、100%近くが利用されている状況である。

(3) 議事

①第二次苫小牧市中小企業振興計画素案（創業及び事業承継の推進）について

事務局より資料2に基づき、「第二次苫小牧市中小企業振興計画素案（創業及び事業承継の推進）」について説明。本案はこれまでの審議会議論等を踏まえた素案であり、これを基に議論を進めていただきたいことを説明。

○須田委員

資料P2（1）②の中小企業庁の中小企業デジタル化応援隊事業において、苫小牧の方が登録されているか知りたい。本事業は事業者にとってもビジネスチャンスなので、登録を勧めていきたいと思っている。

●事務局

本事業の登録者に市内事業者がいることは把握していないが、市も本事業でICTの活用を図ってまいりたいと考えている。

○奥村委員

資料P2（1）②の空き店舗について補助金が出るということだったが、（2）（3）通して予算化がどのくらいされているのか教えて欲しい。

●事務局

空き店舗補助金はコロナ前からある既存の商店街支援事業であり、商店街に加入している事業者が空き店舗を活用した場合、1年間家賃補助を行う制度となっている。

○奥村委員

既に店舗に入っている方というように聞こえたが、これからやりたいという方も適用になるか。

●事務局

本事業は、空き店舗を借りる事業者に対する補助となり、既に店舗を借りている事業者は対象外である。

○中島委員

資料P2（2）①の市内コワーキングスペースの活用について、具体的にどこを指すのか教えて欲しい。

●事務局

市内のコワーキングスペースとして、苫小牧商工会議所ビル2Fに入居している苫高専が主体の「C-b a s e」と、民間事業者が運営している「とまこまいべ

ース」があり、この2箇所の活用を考えている。

○中島委員

では、どのくらい利用されているかお聞きしたい。

○須田委員

C－b a s eの相談件数は年に60～80件。このほか令和2年12月に事業者同士の交流が図れるよう施設を改修しているものの、コロナの蔓延により現在空きがある状況。コロナ後は積極的に活用いただきたいと考えている。

○中島委員

知名度を上げていくことが非常に大事と思っており、皆さんからご意見いただければ活用しやすくなると思う。

○高橋会長

次に資料P2(2)③の中小企業相談所、金融機関等創業支援機関の活用支援について、増田委員、藤本委員いかがか。

○増田委員

中央会は毎週水曜日に室蘭から苫小牧に来ているため、組合関係者に対しコワーキングスペースの存在や金融機関の活用について、PRできると考えている。

○藤本委員

金融機関としては、金融支援はもちろん、事業についてのアドバイスやその後のフォローなど、従来業務の延長線上で協力できると考えている。

○高橋会長

資料P2(3)の事業承継について、綿貫委員いかがか。

○綿貫委員

後継者を探している事業者は多いと認識しているが、事業承継セミナーの参加人数は少ないと思う。本セミナーはどのように周知し、どのようなサポートができていくか伺いたい。

●事務局

事業承継セミナーは苫小牧商工会議所が主催で、市が広報に協力している形である。セミナーは事業承継に対する気づき、必要性や手続きなどといった内容で、セミナー後は個別相談会で専門家と話ができる仕組みとなっている。

○綿貫委員

了解した。

○遠藤副会長

事務局から話があったが、商工会議所は事業承継セミナーを主催しており、案内は会員企業に周知している。セミナーに参加できない方は、事業承継サポートセンターに来ていただきたいと考えている。

○高橋会長

事業承継はデリケートな問題であり、身売りのイメージ持たれている事業者も多い。M&Aもマイナスイメージよりも、企業を地域に残すため議論が必要とい

った声もある。事業承継もご意見をいただきながら進めていきたいと考えている。  
次に奥村委員お願いします。

○奥村委員

P 2 の評価指標について、令和 9 年度の目標値はどのようなデータに基づいて算出したか教えて欲しい。

●事務局

目標値は数字の伸び率を考慮しているものの特に根拠はなく、各事業においてここまで到達したいという数値を定めたものである。

○奥村委員

了解した。

○坂本委員

同じく評価指標について、令和 4 年度の見込みは具体的に目途がついているのか回答いただきたきたい。

●事務局

令和 4 年度については来年度ということで、現状で達成可能と思われる数字を載せており、そこから令和 9 年度の目標数値を定めたところである。

○坂本委員

了解した。

○高橋会長

各事業において実績が伴えば、市の予算を増やすことは可能か。

●事務局

事業実績に応じて予算要求していきたい。

○佐々木委員

コロナ禍における新規創業者の数を知りたい。

●事務局

市が把握しているのは市補助金を受けて創業した方だが、コロナ前は一桁であったのがコロナ後の昨年度が 22 人、今年も 21 人とコロナで倍増した形である。

○佐々木委員

了解した。計画に創業から事業承継、M&A といった観点も入れていければという事から質問した次第である。

○高橋会長

全道の中で苫小牧市の新規事業件数は多いと聞いている。他に情報はないか。

○遠藤副会長

コロナ後の方が、新規創業セミナー参加者及び新規創業希望者が多くなっている。

### ○高橋会長

このコロナ禍に新規開店するお店も多く、決して創業者は減っていない。また、コロナ後に創業する方も間違いなくいるので、そこへのサポートといった視点も必要である。

### ○佐々木委員

コロナ後や創業後の支援を、審議会等でも引き続き考えていかなければならないと思う。

### ○増田委員

新規創業者が倍増して22人とのことだが、どのような職種が多いのか。

### ●事務局

最近多いのが美容・エステなど、また自宅を改修して開業するケース。その他にキッチンカーや前職を生かした清掃業など。ICT関連はまだないので、今後の取組が課題と認識している。

## (4) その他

高橋会長より、次回審議会が令和4年5月16日(水)13:30～、職員会館3階304号室で実施予定であり、後日事務局より日程通知があることを説明。また、本審議会終了後、引き続き意見交換会を実施することを説明。

## (5) 閉会